

# 神獣神功 開明獣

崑崙山の守り神 知識の獣



開明獣は、9つの顔を持つ、虎に似た神獣であると、三海経では解説されています。  
崑崙山（神々の集う世界）門番である開明獣は、崑崙山に入る、9つの門を守っており、  
常には東を向き、けれど、すべて見ているともされるものです。  
ありとあらゆる事を知る、知識の獣であるといわれています。

「KEY WORD」

頭  
思考のバランス  
冷静さ 気づき

「開明獣 召喚」

山の頂より、開明獣が降りてくるイメージを持ち、心の中で、「開明獣 召喚」（かいめいじゅう しょうかん）と、一度唱えます。  
頼みたい事柄を伝え、何か聞きたいときは、「～について問う、その答えを明確に目に付くように、音で耳に届くようによって答えよ」と、伝えます。

先の～は、質問事項を述べます。

さらに、他の見事をした後、「その事象を行った後は、速やかにあるべき場所に戻るように。行った事象に感謝する」と、伝えておきましょう。  
このことで、自然の中にあるものから、あなたが指定したものにおいて、質問の答えを開明獣が伝える準備をしてくれます。

## セルフ・アチューンメント方

1. 伝授を受ける人は椅子、あるいは安心してくつろげる場所に腰を下ろし、目を閉じます。
2. 「ただいまより、神獣神功 開明獣のセルフ・アチューンメントを行います。」と、心の中で宣言します。
3. 開明獣が巻物を持って、エネルギーを得る方のそばまで行き、巻物を手渡すイメージを持ちます。
4. 伝授を受ける人は引き続き、そのまま10分ほどじっと座っています。その間に、エネルギーは自動的にクールダウンしてゆきます。
5. 以上で伝授は終了です。

開明獣のワークを単独で受けるのも可能ですが、六合神功を受けてからのほうが、より確実にエネルギーを感じられるかもしれません。

というのも、開明獣は静かな水面のようなエネルギーで、気づきを司っているからです。

まずは、開明獣から行ったということでもなんら問題はありません。開明獣と共に、すばらしき気づきをえてくださいね。